

ぼくにできること

浦添市立港川小学校一年 與座 諒真

ぼくのかぞくは、まいとしいれいのひに、せんそうとへいわのおべんきょうをします。ぼくがこどもえんのねんちゅうさんのときはいえで、せんそうのてれびをみました。おにいちゃんとおかあさんはみてたけど、ぼくはぼくだんのおとがこわすぎで、みれませんでした。ねんちゅうさんのときは、かぞくでへいわきねんしりょうかんにいきました。なかはくらいとこもあつて、ぼくだんをおとすひこうきのごおごおつていうおとと、

ぼくだんがおちるおとがきこえました。くらいどうくつがあつて、ひとがしんでるしゃしんもありました。ぼくはおとをきくのも、まわりをみるのもこわくて、こころがくるしかつたです。でぐちにでたらあかるくて、きらきらしたうみがみえて、ほつとあんしんしました。おかあさんとおとうさんが、あたたかいてで、ぎゅって、てをつないでくれました。だから、ぼくは、へいわだなつておもいました。おかあさんが、

「こわいっておもうきもちもだいじだよ。せんそうはこわいってちゃんとべんきょうできたね。」

っていつてくれました。おとなのひとは、なんであんなにこわいせんそうなんかするのかな。ぼくはせんそうはだいきらいで

す。せんそうにならない、へいわなせかいになってほしいです。

ぼくは、しがつから一ねんせいになりました。いままでみたいに、こわいからつてみないふりはしないで、へいわをかんがえたいです。ぼくができることは、せかいのみんなとなかよくして、だれにでもやさしくすることです。おともだちのこころがきずつく、ちくちくことばやいやなことは、ぜったにしません。みんなとなかよくしてへいわなせかいにしたいです。